

福田に種子を種える

山主

黒田大岡

昨年四月、黄檗宗の田中君、浄土宗の梅田君の両人を、留学僧としてタイ国に送り、十月、受入先のワット・パクナムに表敬訪問かたがた、両君の激励に行つて参りました。おかげで一人は元気に精進しておりましたし、またワット・パクナムの住職は、二人は稀にみる模範的な留学僧だと賞賛しておられました。日本からの留学僧の評価を更に高める事ができまして、たいへん有難く思うと共に、第一回派遣だけに幸先のよいことと力強く感じた次第であります。

次に、十月に国安大智君をニューヨークの禅センターに送り、昨年アメリカへの留学僧派遣の下準備をととのえております。とにもかくにも、海外留学僧派遣が第一歩を踏み出し得たことは、檀信徒の皆様はじめ、御指導御荷担の諸老師のおかげと、厚く御礼申し上げます。

仏教に三福田の教えがあります。農家が春夕ネを蒔き、秋は収穫するように、三つの福田に夕ネを種えれば、必ず果報が得られるというのである。それは、敬田、恩田、悲田であります。

敬田とは、仏・法・僧の三宝を恭敬し供養すれば無量の福德が授かるというのであり、恩田とは、父母祖先をはじめ、教え育ててくれた人に仕えて恩を報ずれば福を生ずるというのであり、悲田とは、困っている人に施しをすれば、幸福がもたらされるといふのであります。

皆様方は、仏・法・僧の三宝に帰依し、優秀な青年僧に海外で勉学の機会を与える淨財を喜捨して敬田に夕ネを植え、父母祖先に供養のまことを捧げて恩田を耕し、そして当寺でおこなう各種の行持に参加して悲田に夕ネを蒔いておられますので、正に三福田に功德を積んでおられます。私もまた、皆様と共に三福田に夕ネを植え続けてゆく所存ですので、今後共何卒よろしく御支援のほどお願い致します。